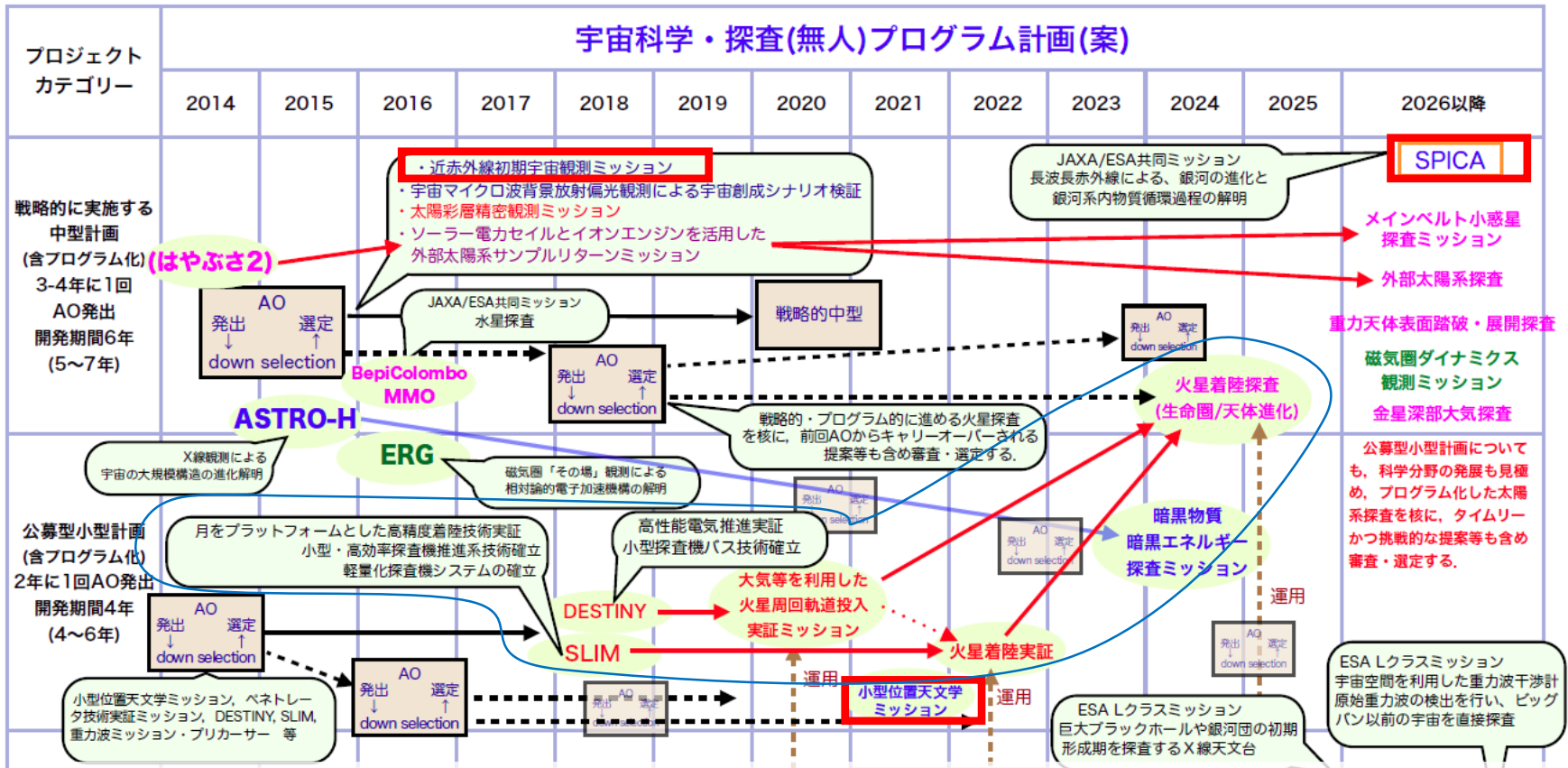


セッション3 スペース班報告 議題

- 検討書のスペース班まとめ（松原氏講演）
 - 公募型小型の考え方、人的リソースをどう賄うか、天文学全体の議論に
 - 宇宙研におけるRFIの分析：天文・宇宙物理学分野
- SPICA 2.5m 遠赤装置をグレーティング分光器に
 - 7/15国際レビュー SPEChOはappendixに 公募時間を増やせ → 9/18 MDRへ
- SPICA TF
 - 新たなサイエンステーマ $z > 10-15$? 撮像機能変化?
- WISH
 - SPICAのM5審査状況次第で新たな動きに
- 小型JASMINE
 - Nano-JASMINE2017年打上 Gaiaと相補的・協力関係 2021年打上予定
- WFIRST
 - WACO 日本独自技術によるマスク開発

上野氏トラペより@2015.7光赤外スペース計画シンポジウム



今回の中規模ミッションの選考で、これまでのようなボトムアップ型のサイエンス・ミッション提案は、現宇宙科学ロードマップに則って進める上では、弱含みであることが露呈した。トップダウン的な太陽系探査のプログラム化ミッション提案は強力。

宇宙理学委員会・宇宙工学委員会のフレームワークによる継続的なミッション創出活動

四角で囲まれたプロジェクトは、国際協力ミッション(日本側の分担が1/2以下のもの)